



市報

# ちようふ

CONTENTS(主な内容)

- 新型コロナワクチン.....2
- 令和4年度下半期の財政状況.....3
- しえいくはんず2023.....9
- 第51回調布市環境フェア.....12

発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1  
編集：行政経営部広報課 市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/

市役所代表：☎042-481-7111

市報ちようふの配布に関する問い合わせは  
市報ちようふ配布コールセンター(配付受託業者(株)小平広告)  
☎042-300-3131

**第38回 調布花火、開催決定**

**9月24日(日)**

午後6時30分～7時30分(予定) ※荒天中止

所多摩川周辺

4年ぶりに

調布には 上を向かせる花火がある

調布市花火実行委員会 ☎481-7311

調布花火の協賛募集は2面をご覧ください

協賛募集

お待たせしました

5月21日の日曜日。第35回児童青少年フェスティバルと第34回調布親子まつりが一体となった「調布親子フェス」が、昨年に続き開催された(註1)。この種の催しでは多摩地域最大級の規模を誇る。

趣向を凝らした多くの出し物や遊びのコーナーで丸一日楽しめる総合イベント(註2)が、会場となった調布駅前広場およびグリーンホールには、開場および10時以前から多くの親子連れに詰めかけて頂き、この日を心待ちにされていた様子が、ありありと窺えた。さもありなんと思われ。コロナ禍の渦中、心の底から無邪気に楽しむ機会があまりにも少なすぎた。感染症防止には、今も細心の注意を払った上で、心と体のポイント。各主催者には、ご苦勞を掛けし、心苦しいが、謹んで報告申し上げたい。3年間で、24日に行なわれた花火大会を、24日に行なうことが、先月、24日の実行委員会において正式に決定された。その後、そのことをさまざまに合点し、お知らせするのと、一瞬会場がどよめく。拍手をされる方もおられる。それほど待望論が強かったのだ。改め、天恵されていることを、好んで感銘している。今、算の増大は、4年前に比べて4割も膨らんでしまった。当然、私自身も積極的にセレクトに従事することになり、が、どうか企業、団体、個人による協賛金および有料観覧席の購入などについて皆様のご協力を、お願いいたします。

調布市 友友貴樹

手をつなぐ樹 421

(註1) 令和2、3年度は中止。「親子フェス」の名称採用は今回から。(註2) 児童青少年フェスティバルでは、パーゴマ、けん玉の伝承遊び、体を動かすジャンジャンコーナー、工作などを実施。調布親子まつりでは、和太鼓演奏、手話うたやキッズダンス、新体操、合唱が披露されたほか子どもの意見を取り入れた各種ゲームが実施された。加えて、野外ステージではダンスやパフォーマンスが行われた。